

令和4年度 江南市男女共同参画懇話会議事録

- 1 開催日時：令和4年11月18日（金）午後2時～3時30分
- 2 開催場所：江南市防災センター2階 防災セミナー室（北）
- 3 出席者：阿部委員、岡田委員、奥村委員、尾関委員、小森委員、仙田委員
高田委員、武田委員、水野委員、宮澤委員、雪岡委員 計11名
事務局
- 4 欠席者：安部委員、丸田委員、藻谷委員、横山委員 計4名
- 5 議題
(1)「第2次こうなん男女共同参画プラン」令和3年度実績報告について
(2)「第3次こうなん男女共同参画プラン」推進状況について
(3)その他
パートナーシップ宣誓制度について

6 議事内容

議題（1）「第2次こうなん男女共同参画プラン」令和3年度実績報告について	
事務局	第2次こうなん男女共同参画プラン最終年度の具体的施策の実績について抜粋して説明、第2次こうなん男女共同参画プランの総括について説明。
委員	資料1から抜き出したものが資料2なるのか、資料2に書いていないだけで77の具体的施策に77個それぞれに数値目標があるものなのでしょうか。
事務局	それぞれの基本目標に体系化された視点ごとに数値目標を掲げています。77個の具体的施策すべてに数値目標はありません。
議題（2）「第3次こうなん男女共同参画プラン」推進状況について	
事務局	第3次こうなん男女共同参画プランの概要について説明
委員	基本目標Ⅰ 視点2 具体的施策11について、市職員でイクメンはどのくらいいるのでしょうか。
事務局	イクメンがどのくらいいるのかという統計はとっていませんが、第3次プランでは市の男性職員の育児休業取得率を基本目標Ⅲの数値目標として掲げており、令和2年度は8.3%、令和3年度は16.7%という結果となっており、この2年間についてみると割合は上昇しています。

委員	また、イクボスについての活動は行っていますか。
事務局	管理職から育休制度等について女性職員だけでなく男性職員にも声をかけていくように人事部署から言われています。育児に対する職場の意識づくりを管理職が心がけるようにしています。
委員	中学生向けパンフレットのジェンダーギャップ指数に関するページで、各分野における日本の順位について、低さが一番顕著に表れているのが政治分野です。資料5から審議会等委員への女性の登用率をみても、平成25年度からほぼ横ばいで推移しています。 なぜ江南市は登用率が上がらないのかということについて、掘り下げ促進する具体的な計画を立てないと変わらないと思っています。
会長	P T A会長の男女比はどうですか。
副会長	学校によるとは思いますが、女性会長もいます。P T A役員自体は女性が多い状況です。
委員	区長は男性がほとんどだと思います。今後は女性の存在も意識してほしいと考えます。
事務局	事務局として、担当課に依頼していきます。審議会等委員への女性登用についても、引き続き強く依頼していきたいと考えています。まずは市役所から意識を変えていきたいと考えています。
会長	すぐに変えることは難しいと思いますが、プランに載っている目標に沿って徐々に意識を変えていってほしいです。
委員	基本目標Ⅱ 視点1 具体的施策23について、地域の防災会議は地域の区長が参加することが多く、区長は男性が多いです。また、女性の意見がなかなか通りません。女性の意見が通りやすい環境を整えていただけるとありがたいです。
事務局	防災会議では女性の参加は少ないですが、例えば市役所では、避難所開設要員としては必ず女性を充てていたり、防災面に女性の視点を取り入れようと、少しずつですが意識を変えています。
委員	実際に災害に直面した場合、区長を中心に動いていくことになりましたが、区の役員に女性がいなかったため、女性の視点が入りにくいです。各地区で意思決定の場に女性がいるという組織作りを変えてほしいと思っています。

事務局	<p>今年の6月に男女共同参画の視点での地域防災についてセミナーを開催し、区長も何名か出席していただいています。</p> <p>この様なセミナーを継続的に開催し、区長の意識も含め組織を変えていかなければならないと考えています。担当課に伝えます。</p>
委員	<p>そのセミナーに全区長が参加しなかったのが残念です。災害の場においても女性の視点やLGBTQの視点も必要であると感じているので、ぜひ意識を変えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>災害があった時、市職員は役割分担など、迅速に動ける体制になっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>各課ごとに役割分担があります。</p>
委員	<p>避難所運営の練習はしていますか。</p>
事務局	<p>避難所ごとに行っています。</p>
委員	<p>乳幼児の備蓄用品として、災害時は粉ミルクよりもお湯を使用しない液体ミルクが必要であると考えており、以前、災害地域に液体ミルクを送ろうとしたことがあった店でも今はなかなか売っていないという状況です。子育て支援センターと連携して、備蓄用品として液体ミルクを置いていただきたいと思います。</p>
会長	<p>女性の視点だからこそ気づくこともたくさんあるので、各方面の会議において女性の意見が通るような組織となるよう、各課に依頼をしていくようお願いします。</p>
委員	<p>資料5の登用率の目標がずっと変わっておらず、目標を達成できていないのが大変残念に思っています。</p> <p>男女共同参画都市宣言をしている市として、平均値よりも上にいてほしいという思いがあります。</p> <p>また、基本目標Ⅳ 視点2の具体的施策68の、思春期健康教室は何年か前から行っているかと思いますが、令和4年度は古知野中学校1校のみの開催となっています。できれば全中学校対象に行うよう検討していただきたいと思います。</p>
委員	<p>プランの全体的な話で、教室やセミナーを開催しているかと思いますが、コロナ禍での開催進捗状況はどのようになっていますか。</p> <p>また、講座は定員に達しているのか、参加者は少ないのか、どのような状況でしょうか。</p>

事務局	<p>実績をみると、感染予防の観点等で思うように教室やセミナー等ができていないという現状ではあります。</p> <p>市民サービス課では、今年度のセミナーは感染対策を講じ、定員数を減らしたりなどして開催しています。</p>
委員	<p>他地域では zoom を使ったりリモートでの講座の開催が多くなっています。小さいお子さんをお持ちの親向けの教室やセミナーでは、子育て等のこともあり、リモートでの講座の方が参加しやすいのではないかと考えます。今後もコロナ禍が続くようであれば、リモートでの講座も計画に入れていくというのも一つの方法であると考えます。</p>
会長	<p>市全庁では、オンライン講座は行っていますか。</p>
事務局	<p>令和3年度に社会福祉協議会が市の委託を受けて介護教室をオンラインで行ったという実績があります。</p>
会長	<p>子育て世代にはオンラインによる教室、セミナーに参加することにあまり抵抗はなく、むしろ歓迎されるような雰囲気です。市の行政もオンライン講座を行っている団体を参考にして取り入れることで、今まで参加していなかった年齢層の方を取り込めるかもしれないと感じています。</p>
委員	<p>社会福祉協議会ではコロナ禍であることを理由にイベントを中止にするのではなく、コロナ禍でできる開催方法を模索しています。昨年の「ふくしまつり」はオンラインで開催しました。</p>
議題（3）その他「パートナーシップ宣誓制度について」	
事務局	<p>パートナーシップ宣誓制度の概要について説明</p>
委員	<p>法整備が進まない中で市からこのような支援に取り組まれるということは意義深いことであると考えます。</p> <p>事務局から説明があった「ファミリーシップ制度」について、性的マイノリティの方が養子縁組、里親、代理出産等子どもを持ったとき、どのような支援を想定していますか。</p>
事務局	<p>ファミリーシップ制度を導入している市の話を聞くと、まだあまり踏み込んだ施策は行っていませんでした。例えば、離婚して、新しいパートナーと実子が養子縁組を出来るようにするということは、法に関係することもありなかなか踏み込めないところです。</p> <p>パートナーシップ制度制定を求める請願が採択されてから、市の</p>

	<p>課長を対象にLGBTQのセミナーを開催しました。その時にパートナーシップ制度とは当事者にとってどのような存在なのかということ講師に質問したところ、「心のよりどころである」と言われました。市に制度があることによって「LGBTQへの理解があり、容認されるまちなんだ」という思いになるということをおっしゃられました。自分たちがLGBTQであるということに対して否定的にならなくて良いという考えを持つことができるということでした。</p> <p>ファミリーシップ制度についても当事者の心のよりどころになることが大切だと思っています。</p> <p>まだ詳細は決まっていますが、他市で行っているように、市営住宅への入居、乳児健診等、できることから実施していきます。</p>
<p>会長</p>	<p>江南市がLGBTQの心のよりどころとなるまちとなるように制度を進めていくことが重要になると思います。LGBTQの方でも子供を持ちたいという方も多くいらっしゃるかと思うので、そのような方に向けて少しずつでも支援できる体制を整えていくよう進めてほしいと考えます。</p>

(15:30終了)